

産地パワーアップ事業の取組事例

(群馬県)

取組の概要

計画作成主体：沼田市農業再生協議会
対象品目：野菜（雨よけトマト）
（産地面積40.7ha）
主な取組主体：利根沼田農業協同組合
成果目標：販売額10%以上の増加
基準（H29年度）854百万円
目標（R3年度）945百万円
導入施設等：整備事業
（集出荷貯蔵施設選果機整備）
生産支援事業
（ハウス資材、機械リース）



ポイント

【取組の主題(テーマ)または課題】

群馬県北部に位置する当地域は、雨除けトマト栽培の全国有数の産地であり、各市場の取扱量の上位を占めている。平成4年度に共同集出荷施設を整備した時に導入された選果機は、経年劣化による故障、トマト果実の傷み等による出荷ロスの発生、ラインへの混入等、選果機能に支障をきたしていたことから、平成30年度に新たな選果機を導入した。

このことから、新型の選果機の導入と併せて、生産者への栽培管理技術指導により品質を向上させ有利販売に取り組むとともに、新たなトマト生産者の育成や既存の生産者の規模拡大の意欲向上を図り、産地としてのパワーアップを目指す。

【産地の体質強化に向けた方策】

- ①集出荷施設に新型のトマト選果機の導入(令和元年度稼働)
- ②雨よけパイプハウスの導入
- ③機械リース導入

推進体制

・利根沼田農務事務所(県)
・沼田市
・利根沼田農協

指導・助言

沼田市農業再生協議会
①計画の策定・管理
②取組計画への助言

情報共有

・協議会と取組主体(法人)との情報共有(取組状況等)
・行政機関(県、町)及び農協によるサポート体制

取組主体(法人)
①取組計画の作成
②取組実施等

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・選果基準及び栽培マニュアル作成
- ・定期的な技術講習会及び圃場の巡回
- ・消費地と産地の情報の共有

期待される事業効果

【事業実施による直接効果】

- ①リース支援による初期投資の節減効果
- ②共同選果によるコスト節減効果
- ③選果基準・栽培マニュアルの設定による品質向上効果

【事業実施による間接効果】

- ①担い手による作付面積拡大により、生産量が増加
- ②秀品率向上による販売額の増加



販売額が増加

～トマトの販売額～

10.0%以上増加

854,700,000円

945,100,000円

H29年度

R3年度